



発行
学校法人 群馬育英学園
広報委員会

ご挨拶



群馬育英学園

理事長 中村義寛

2024年、令和6年の新年を迎え謹んでお慶び申し上げます。

今年、1月1日の夕方に発生した石川県能登地方を震源とする地震により、多くの方々が亡くなられました。犠牲になられた方々に哀悼の意を表すとともに、未だに大変な思いをされております被災地域の皆様の安全と一日も早い復興を心からお祈りいたします。

また、昨年の4月22日には、育英大学・育英短期大学の体育館において故中村有三前学園長のお別れの会を執り行い、多くの皆様にご

参列いただきありがとうございました。中村有三前学園長は昭和38年に前橋育英高校を開校し、育英短期大学・幼稚園・育英メデイカル専門学校・育英大学などの開学に力を注ぎ、「初心貫徹」熱き心で私学教育のために生涯現役を貫き、学園の健全なる発展のために尽力してきました。生前、多くのご厚情を賜りました皆様へ深く感謝申し上げます。

昨年末、今年にかけての前橋育英高校男子サッカー部・第102回全国高校サッカー選手権大会出場への支援、応援の募金に際しましては、学園協力会・協力企業・高校後援会・保護者会・同窓会・退職者の会・学園教職員等々、多くの皆様のご協力をいただき、心より御礼申し上げます。前橋育英高校は初戦の立正大・南戦では3対1で勝利しましたが、続く2回戦の神戸・弘大戦は0対2で惜敗しました。今回、敗退した悔しさをバネに、次の1・2年生は今年以上に頑張ってくれることを期待しています。

学園の主な行事日程

育英大学 ◆入試日程

Table with columns: 入試区分, 試験日, 合格発表. Rows include 一般・スカラI期, 共通テスト・特待I期, etc.

*本学独自の試験は実施しません

- 卒業研究発表会 2月5日㊞
連携事例発表会 2月20日㊞
学位記授与式 3月14日㊞
オープンキャンパス 3月16日㊞

育英短期大学 ◆入試日程

Table with columns: 入試区分, 試験日, 合格発表. Rows include 総合型IV期・特待生II期, etc.

- オープンキャンパス 1月21日㊞
保育フェスティバル 1月21日㊞
卒業研究発表会 (現代コミュニケーション学科) 2月6日㊞
連携事例発表会 2月20日㊞
学位記授与式 3月14日㊞
オープンキャンパス 3月16日㊞

前橋育英高等学校 ◆入試日程

Table with columns: 入試種別, 試験日, 出願期間, 合格発表. Rows include 学特II期, 一般.

- IV類修学旅行 2月6日㊞~2月9日㊞
学年末試験 2月26日㊞~2月29日㊞
卒業式 3月1日㊞
終業式 3月22日㊞
学年末休業 3月25日㊞~

ネに、次の1・2年生は今年以上に頑張ってくれることを期待しています。

育英高校とともに一層の進化を進め、今後ますます厳しくなる少子化にあっても地域社会から高く評価される総合学園を目指して邁進してゆく所存です。関係各位の更なるご理解とご協力をお願いいたしますとともに、この1年が皆様にとつてすばらしい年になりますようにお祈り申し上げます。年頭にあつたつのご挨拶いたします。

謹賀新年



役員・評議員

- 理事長 学園長 中村 義寛
理事 ※大学・短大校長 石井 學
理事 ※高校校長 金子 雅一
理事 ※事務理事 法人本部長 岩川 昭一
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 佐伯 正典
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 山田 清志
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 山田 耕介
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 山田 雅彦
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 武田 正喜
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 小野澤 正喜
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 福島 英人
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 代田 恭之
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 富岡 政明
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 柳川 美磨
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 岡田 義幸
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 岡田 紳哉
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 富澤 昌久
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 久住 洋
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 新井 信雄
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 関根 映一
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 北條 哲成
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 遠山 浩二
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 石井 晃英
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 大塚智枝子
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 石井 昌代
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 高月 有記恵
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 亦野 高裕
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 北原 崇夫
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 高月 広喜
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 平澤 精人
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 川端 誠
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 高月 広喜
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 平澤 精人
理事 ※短大現代コミュニケーション学科長 川端 誠

法人本部

- 総合企画部 部長 高月 広喜
総合企画部 企画課長兼教務課次長 平澤 精人
総務部 財務課長兼総合企画部次長 川端 誠
児童教育専攻長・教授(大学) 樋口 和彦

大学・短期大学

- スポーツ教育専攻長・教授(大学) 滝沢 和彦
保育学科長・教授(短大) 松本 尚
学生支援部長・教授(大学) 星野真由美
図書館長兼教育研究所長・教授 吉田 健人

管理課長

- 入試広報課長 戸澤 勲
入試広報課長 中澤 朋弘
学生支援課長 桂 郁太郎
学生支援課長 茂木 健太

高等学校

- 教務次長 上原 敏広
事務課長 中井 俊二
事務課長補佐 塚田 恵

*は評議員兼任

令和4年度 決算報告

学校法人 群馬育英学園

学園の令和4年度決算は、本年度5月26日(金)に開催された理事会において承認可決され、続いて開催された評議員会に報告されました。令和4年度決算は下記のとおりです。

事業活動収支計算書

令和4年4月1日より
令和5年3月31日まで (単位:円)

科目	予算	決算	差異(▲)
学生生徒等納付金	1,748,413,000	1,702,335,100	46,077,900
手数料	52,370,000	51,072,790	1,297,210
寄付金	90,102,000	116,087,753	▲25,985,753
経常費等補助金	704,158,000	774,184,070	▲70,026,070
付随事業収入	79,439,000	80,038,000	▲599,000
雑収入	97,624,000	137,483,297	▲39,859,297
教育活動収入計	2,772,106,000	2,861,201,010	▲89,095,010

科目	予算	決算	差異(▲)
人件費	1,652,045,000	1,691,477,718	▲39,432,718
教育研究経費	793,770,000	789,957,771	3,812,229
管理経費	214,515,000	247,364,950	▲32,849,950
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	2,660,330,000	2,728,800,439	▲68,470,439
教育活動収支差額	111,776,000	132,400,571	▲20,624,571

科目	予算	決算	差異(▲)
受取利息・配当金	32,000	85,803	▲53,803
教育活動外収入計	32,000	85,803	▲53,803

科目	予算	決算	差異(▲)
借入金等利息	2,731,000	2,717,565	13,435
教育活動外支出計	2,731,000	2,717,565	13,435
教育活動外収支差額	▲2,699,000	▲2,631,762	▲67,238
経常収支差額	109,077,000	129,768,809	▲20,691,809

科目	予算	決算	差異(▲)
資産売却収入	0	0	0
その他の特別収入	13,500,000	33,359,933	▲19,859,933
特別収入計	13,500,000	33,359,933	▲19,859,933

科目	予算	決算	差異(▲)
資産処分差額	0	17,066,993	▲17,066,993
その他の特別支出	0	▲3,211,691	3,211,691
特別支出計	0	13,855,302	▲13,855,302
特別収支差額	13,500,000	19,504,631	▲6,004,631

科目	予算	決算	差異(▲)
[予備費]	35,000,000		18,000,000
基本金組入前当年度収支差額	87,577,000	149,273,440	▲61,696,440
基本金組入額合計	▲145,775,000	▲231,955,234	86,180,234
当年度収支差額	▲58,198,000	▲82,681,794	24,483,794
前年度繰越収支差額	▲4,522,027,330	▲4,522,027,330	0
翌年度繰越収支差額	▲4,580,225,330	▲4,604,709,124	24,483,794

(参考)

事業活動収入計	2,785,638,000	2,894,646,746	▲109,008,746
事業活動支出計	2,698,061,000	2,745,373,306	▲47,312,306

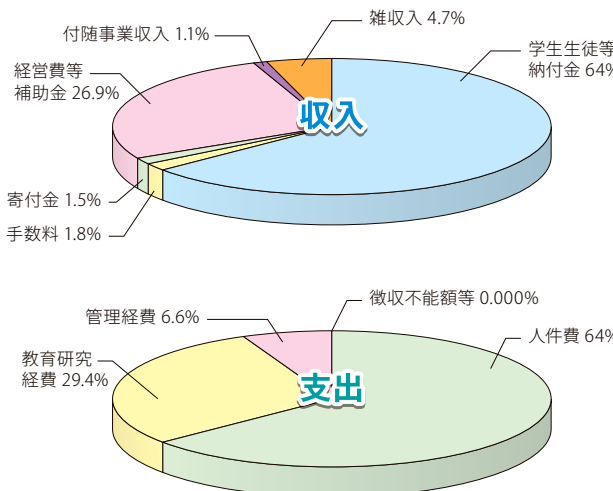
資金収支計算書

令和4年4月1日より
令和5年3月31日まで (単位:円)

科目	予算	決算	差異(▲)
学生生徒等納付金収入	1,748,413,000	1,702,335,100	46,077,900
手数料収入	52,370,000	51,072,790	1,297,210
寄付金収入	103,602,000	128,623,153	▲25,021,153
補助金収入	704,158,000	779,389,070	▲75,231,070
資産売却収入	0	865,257	▲865,257
付随事業・収益事業収入	79,439,000	80,038,000	▲599,000
受取利息・配当金収入	32,000	85,803	▲53,803
雑収入	97,624,000	137,483,297	▲39,859,297
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	131,700,000	130,972,000	728,000
その他の収入	749,800,000	1,471,848,700	▲722,048,700
資金収入調整勘定	▲71,000,000	▲208,106,145	137,106,145
前年度繰越支払資金	1,237,226,721	1,237,226,721	0
収入の部合計	4,833,364,721	5,511,833,746	▲678,469,025

科目	予算	決算	差異(▲)
人件費支出	1,652,045,000	1,675,534,365	▲23,489,365
教育研究経費支出	577,067,000	552,388,384	24,678,616
管理経費支出	207,327,000	218,497,627	▲11,170,627
借入金等利息支出	2,731,000	2,717,565	13,435
借入金等返済支出	49,266,000	49,386,000	▲120,000
施設関係支出	94,396,000	109,942,570	▲15,546,570
設備関係支出	109,589,000	122,268,716	▲12,679,716
資産運用支出	0	21,946,457	▲21,946,457
その他の支出	855,900,000	1,503,825,505	▲647,925,505
予備費	35,000,000		35,000,000
資金支出調整勘定	0	▲41,989,115	41,989,115
翌年度繰越支払資金	1,250,043,721	1,297,345,672	▲47,301,951
支出の部合計	4,833,364,721	5,511,863,746	▲678,499,025

令和4年度 事業活動収支構成比率



貸借対照表

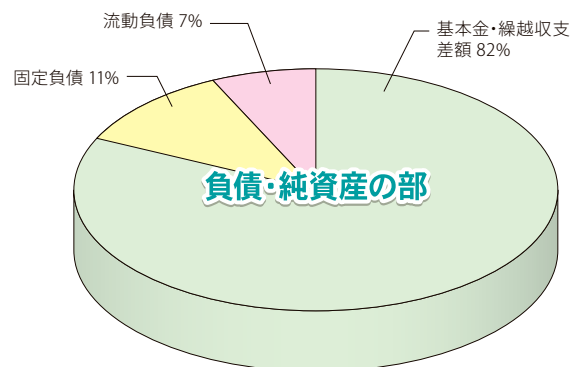
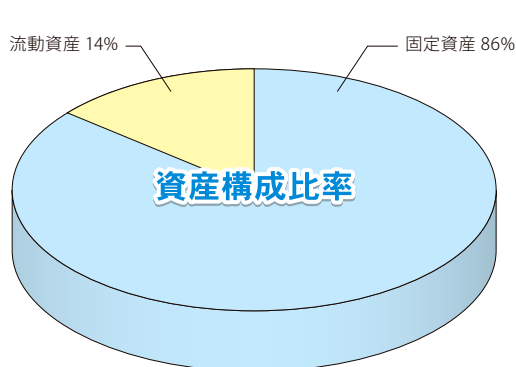
令和5年3月31日現在

(単位:円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減(▲)
固定負債	1,108,342,124	1,164,215,978	▲ 55,873,854
長期借入金	606,929,000	656,315,000	▲ 49,386,000
退職給与引当金	85,928,361	69,985,008	15,943,353
長期未払金	415,484,763	437,915,970	▲ 22,431,207
流動負債	676,786,326	694,911,818	▲ 18,125,492
短期借入金	49,386,000	49,386,000	0
未払金	54,608,342	59,011,866	▲ 4,403,524
前受金	131,062,000	141,311,000	▲ 10,249,000
預り金	441,729,984	445,202,952	▲ 3,472,968
負債の部合計	1,785,128,450	1,859,127,796	▲ 73,999,346
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減(▲)
基本金	12,819,071,360	12,587,116,126	231,955,234
第1号基本金	12,633,071,360	12,401,116,126	231,955,234
第4号基本金	186,000,000	186,000,000	0
繰越収支差額	▲ 4,604,709,124	▲ 4,522,027,330	▲ 82,681,794
翌年度繰越収支差額	▲ 4,604,709,124	▲ 4,522,027,330	▲ 82,681,794
純資産の部合計	8,214,362,236	8,065,088,796	149,273,440
負債及び純資産の部合計	9,999,490,686	9,924,216,592	75,274,094

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減(▲)
固定資産	8,616,978,184	8,633,546,990	▲ 16,568,806
有形固定資産	8,475,843,424	8,512,527,739	▲ 36,684,315
土地	3,165,027,015	3,165,027,015	0
建物	4,335,304,692	4,448,902,372	▲ 113,597,680
構築物	349,177,344	325,525,542	23,651,802
教育研究用機器備品	280,820,069	232,021,719	48,798,350
管理用機器備品	34,019,998	33,037,737	982,261
図書	253,802,583	252,196,123	1,606,460
車輛	57,691,723	55,817,231	1,874,492
特定資産	86,178,672	70,235,319	15,943,353
退職給与引当特定預金	85,928,361	69,985,008	15,943,353
クラブ活動特定預金	250,311	250,311	0
その他の固定資産	54,956,088	50,783,932	4,172,156
電話加入権	1,963,507	1,963,507	0
保険積立金	31,083,981	25,964,895	5,119,086
出資金	50,000	50,000	0
敷金・保証金	375,000	1,274,000	▲ 899,000
貸付金	21,200,000	21,200,000	0
その他預託金	283,600	331,530	▲ 47,930
流動資産	1,382,512,502	1,290,669,602	91,842,900
現金預金	1,297,345,672	1,237,226,721	60,118,951
未収入金	70,656,375	37,961,984	32,694,391
有価証券	0	724,561	▲ 724,561
前払金	9,963,489	12,615,563	▲ 2,652,074
仮払金	4,546,966	2,140,773	2,406,193
資産の部合計	9,999,490,686	9,924,216,592	75,274,094

令和4年度 貸借対照表



育英大学 育英短期大学 だより

学生数

大学 教育学部	464人
短期大学	
保育学科	324人
現代コミュニケーション学科	133人

新春にあたって



育英大学・育英短期大学
学長 石井 學

令和5年は、パリオリンピックに櫻井、元木両選手の出場が内定し、1月の箱根駅伝では新田選手の力走があり、輝かしい1年となりましたが、新年を迎え更なる飛躍が期待されます。しかし、一方で18才人口の減少期を迎え改革が求められています。文部科学省は、中央教育審議会大学分科会特別部会に対して「急速な少子化に対応する高等教育機関の適正規範」という検討課題を入れており、大学の再編、統合も議論の対象としていきます。このような状況下で小規模の育英大学、育英短期大学が共に生き残るには特色を持った改革が必要です。ことに、短期大学の法令化の歴史も浅く、戦後当分の間として設けられた制度が昭和39年の学校教育法の改正により正

式に制度化されました。同法第108条によれば「深く専門の学芸を教授研究し、職業又は実生活に必要な能力を育成する」とあります。ちなみに、大学の目的は「深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させる」、専修学校は「職業若しくは実生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る」ことを求めています。したがって、短期大学の位置づけは、大学と専修大学の中間のカリキュラムを組むことに独自性を出すことは出来ず、職業又は実生活のための能力教育を目的とし、教育面、研究面に実践重視の視点を立ち、地域社会に貢献する人材の育成を目的とした新たな挑戦が短期大学の生き残る道と確信しています。保育学科に関しては、教育基

本法にも「全ての子供が健康やかに成長出来るよう質の高い教育の重要性」を求めており、今後更に教員と学生が一体となったきめ細かい教育を心がけることが重要です。

現代コミュニケーション学科は、デジタル化の進展の中で、人間対人間の関係性を深めるコミュニケーション力を持った人材の育成が必要と考えています。

育英大学は、開学6年を経て令和6年度より入学定員を150名(スポーツ教育専攻50名増)としましたが、定員確保の見通しも立ち、軌道に乗りつつあると思います。

両大学共に入学定員の充足による収入の安定と併せて、設備面の増設が緊急の課題です。入学定員の確保には、教職員が一体となって高等学校等を訪問し、自信を持って本学の特徴を積極的にアピールすることが求められます。オープンキャンパスの充実(学生だけにまかせないで教員の全員参加がかせませません。先の見えない時代において教職員が意識改革を行い育英大学・育英短期大学、前橋育英高校、そして学園本部の四者が一体となって群馬育英学園の発展に邁進することを願っています。

短期大学学科だより



保育学科長
松本 尚

保育者養成の現状について

新年あけましておめでとうございませす。日頃より皆様からご支援ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。保育学科での授業・実習・学校行事など順調に進んでおります。コロナ禍の時にはどうなることかと思われましたが、平常時の状況に回復し新たな気持ちで保育者養成に向かうこととなり

ました。保育現場においては未だ保育者(保育教諭)の不足が聞かれており、保育関係団体からは養成校に対して新たな保育者養成への協力依頼が来ている状況となっています。今後も18歳人口が減少する中、どの大学・短大も定員割れが見込まれ定員充足が難しい状況です。

現在県内の保育者養成校の中では老舗となる本学ではありますが、止む無く定員数を1学年240名から170名に縮小することとなりました。縮小こそしますが、保育者の質の確保は重要な課題となつていことから、スペシャリティーのある保育者養成に尽力してまいりますので、皆様からのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



現代コミュニケーション学科長
泉水清志

コミュニケーション教育の重要性

新年あけましておめでとうございませす。日頃より皆様方のご支援に対し、大変感謝いたします。今年度は新型コロナウイルス感染症の五類感染症移行に伴い、教育や学生生活が従来通りとなつたことで、1、2年生ともその笑い声や笑顔を通して楽しく、充実した日々を過ごしている様子が伺えます。コロナ禍を通して、私たちは相手と直

接会ってコミュニケーションをすることの大切さを改めて感じさせられました。オンラインやマスク越しでは分からない表情やその場の雰囲気は、自分を伝えるためにも相手を理解するためにも重要な手がかりとなります。今後の地域社会ではこれまで以上に高いコミュニケーション能力が求められる中で、現代コミュニケーション学科はコースを再編し、時代や社会に即したコミュニケーション能力を備えた人材を養成していくことを考えています。前橋育英高校との連携・接続や育英大学との協力をもとに、群馬育英学園の発展のために学科教員が一つになって進んでいきたいと思つています。今後とも皆様方の変わらぬご支援、ご指導のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

教育学部だより



教育学部長
柳川美磨

—スポーツ教育専攻の
定員増と現状の報告—

新年あけましておめでとうございます。現在、産休・育休取得者数の増加や民間企業への人材流出から教員のなり手が減少し、教員不足が社会問題になってい

ます。現在、産休・育休取得者数の増加や民間企業への人材流出から教員のなり手が減少し、教員不足が社会問題になってい群馬県においても教員採用試験倍率の低下が顕著になっており、問題解決に向けて教育現場も働き方を改革(部活動指導の地域移行など)するなど改善に取り組んでおります。このような社会背景から育英大学教育学部は令和6年度にスポーツ教育専攻の定員を50名から100名に増員し、児童教育専攻50名を合わせ、150名の定員に設定することを文部科学省に申請し、認められました。この定員増により小学校と中学校の両教員免許を取得可能な履修モデルの作成や運動部活動の新たな公認指導者資格(日本スポーツ指導者資格・日本サッカー協会指導者資格)を取得できるようなカリキュラムを設定しました。

就職に関しては昨年度に続き、

教員、公務員、幼稚園、保育士、民間企業などを含め100%と高い就職率を維持しています。この就職率は、厚生労働・文部科学省が毎年公表している全国の大学平均(令和4年度97.3%)と比較しても高い就職率となりました。特に群馬県の小学校の教員採用試験に關しては2次試験の合格率が3年連続100%、及び中学校に關しては、群馬県に4名(2名は既卒生)が合格となりました。今後ダブルスクーリング体制とキャリアに合わせた個別の進路対策に万全を尽くしていきます。

部活動はレスリング部でスポーツ教育専攻4年の櫻井つぐみがセピアで実施されたパリオリンピックの予選会である2023年度世界選手権で優勝、同4年の元木咲良が準優勝し、2024年の8月に行われるパリオリンピックの選手に内定しました。2人の選手はオリンピックの金メダル候補であり、日本中から期待されています。

開学6年目の育英大学はまだ新設大学であり、他にも地域との連携や高大接続などの課題もありますが、改革を繰り返しながらより良い大学づくりを目指して取り組んでいきます。今後も前橋育英高等学校と連携を強化し、学園全体で発展していければと思います。引き続き、皆様のご支援、ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

—社会での雄飛を目指して—



児童教育専攻長
鏑水 浩

新年あけましておめでとうございます。

児童教育専攻では今年度4月には清新の息吹きを吹き込む47名の1年生が入学しました。今年度1年生のキャリアラムから小学校及び中高保健体育の各一種教員免許が取得しやすくなったこともあり、広い範囲に渡る目標に向けて日々学業や諸活動に取り組んでいます。2、3年生では総合ゼミにおけるキャリアプランニングや林業体験、そして保育実習をは

じめとする各実習活動と充実した学修を展開しています。なお3年生では自治体によっては今年度から3年次においても教員採用試験が実施されることになり、本学からも2名の学生が果敢に挑戦することになってい一方、4年生においては小学校教員採用試験では児童教育専攻所属として延べ9名、スポーツ教育専攻も含めると14名が合格、また市町村公務員では1名、公立保育園等で4名、警視庁に1名が合格し、教職大学院への進学者1名を含め今年度も全員が就職、進学を決定できる見込みです。本学で受けた薫陶を胸に刻み、実社会での雄飛を期待します。教育は未来を拓く子どもたちを慈しみ育ていくという崇高な事業です。児童教育専攻では、この事業を推進していくに足る人材の育成に今後とも努めてまいりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

—スポーツ教育専攻この1年—



スポーツ教育専攻長
滝沢和彦

新年あけましておめでとうございます。

この1年は、新年の箱根駅伝での関東学連選抜第一走者新田颯選手(当時本専攻4年生)の激走、そして9月にセルビアで開催された女子レスリング世界選手権では櫻井つぐみ選手(4年生)が三連覇、また元木咲良選手(4年生)も銀メダルとともにパリオリンピックの出場が内定、という快挙が続き、全国に本学の

名が轟いた年となりました。学生募集でも定員を大きく上回る受験生があり、こうした実績により令和6年度から本専攻の入学定員が倍増の100名となりました。そして、来年度もこの新しい定員を上回る新入生を迎えられる見込みです。いわゆる出口におきましても、昨年度に引き続き就職率100%を達成するとともに、教授では群馬県中学校体育で4名が現役合格したのをはじめ、着実にその実績を積み重ねているところでです。我が国全体を見ますと大学をめぐる環境は厳しいものがありますが、スポーツ教育専攻という特色ある教育を武器にこの厳しさを乗り越えるべく、所属教員一丸となって教育と研究に邁進する所存です。関係各位のますますのご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

令和4年度後期・令和5年度前期の成績優秀者奨学金の授与

令和4年度後期の成績優秀者及び令和5年度前期の成績優秀者に奨学金を授与いたしました。奨学金は、半期授業料の半額相当です。成績優秀奨学生は、以下のとおりです。

令和4年度後期 成績優秀奨学生

- 教育学部教育学科 児童教育専攻
1年 西東 英奈
2年 菅原 想介
3年 鈴木 栞
スポーツ教育専攻
1年 柳澤 優羽
2年 石坂 麻結
3年 早川 慶

令和5年度前期 成績優秀奨学生

- 教育学部教育学科 児童教育専攻
1年 米山 水葵
2年 西東 英奈
3年 菅原 想介
スポーツ教育専攻
1年 齋藤 望夢
2年 瀬尾 結衣
3年 齋藤 真生

クラブ活動の主な成績

大学の学生が本年度に活躍した主な成績は次のとおりです。

陸上競技部

- 第100回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会(10/14)
国際棒高跳びサミット(米国)1/11~13
篠塚浩斗(大学)スポーツ教育:2年
日本学生陸上競技個人選手権大会(4/21~23)
篠塚浩斗(大学)スポーツ教育:2年

レスリング部

- 2023年明治杯全日本選抜選手権(6/15~18)
清岡もえ(大学)スポーツ教育:2年
五味音々(大学)スポーツ教育:3年
櫻井つぐみ(大学)スポーツ教育:4年
元木咲良(大学)スポーツ教育:4年
平井かえで(大学)児童教育:3年
石井 亜海(大学)児童教育:3年
藤倉 優花(大学)児童教育:3年
全日本社会人選手権(7/1~2)
櫻井はなの(大学)児童教育:3年
原田 渚(大学)スポーツ教育:1年
五味音々(大学)スポーツ教育:3年
元木日陽里(大学)スポーツ教育:1年
平井かえで(大学)児童教育:3年
藤倉 優花(大学)児童教育:3年
2023年全日本学生選手権(8/26~29)
バトバヤルナンバルダグワ(大学)スポーツ教育:1年
太田 楓輝(大学)スポーツ教育:4年
本名一晟(大学)スポーツ教育:2年
本名 帝心(大学)スポーツ教育:2年
吉澤 英(大学)スポーツ教育:3年
バトバヤルナンバルダグワ(大学)スポーツ教育:1年
櫻井はなの(大学)児童教育:3年
原田 渚(大学)スポーツ教育:1年
清岡もえ(大学)スポーツ教育:2年
五味音々(大学)スポーツ教育:3年
藤倉 優花(大学)児童教育:3年
世界選手権(セルビア)9/16~24
櫻井つぐみ(大学)スポーツ教育:4年
元木咲良(大学)スポーツ教育:4年

- 石井 亜海(大学)スポーツ教育:3年
U20世界選手権(ヨルダン)8/14~20
清岡もえ(大学)スポーツ教育:2年
新井 一花(大学)スポーツ教育:1年
藤倉 優花(大学)児童教育:3年
全日本大学グレコローマン選手権(10/18~19)
増田 壮兼(大学)スポーツ教育:3年
五味 虹登(大学)スポーツ教育:2年
三谷 剛大(大学)スポーツ教育:3年
長谷川 虎次郎(大学)スポーツ教育:1年
佐々木 優太(大学)スポーツ教育:2年
バトバヤルナンバルダグワ(大学)スポーツ教育:1年
団体2位
内閣総理大臣杯全日本大学選手権(11/25~26)
本名 帝心(大学)スポーツ教育:2年
バトバヤルナンバルダグワ(大学)スポーツ教育:1年
団体5位
2023年天皇杯全日本選手権(12/21~24)
増田 壮兼(大学)スポーツ教育:3年
五味 虹登(大学)スポーツ教育:2年
三谷 剛大(大学)スポーツ教育:3年
原田 渚(大学)スポーツ教育:1年
清岡もえ(大学)スポーツ教育:2年
池畑 菜々(大学)スポーツ教育:1年
藤倉 優花(大学)スポーツ教育:1年

女子バレーボール部(大学・短大)

- 2023年度関東大学バレーボール3部秋季リーグ戦
2023年度群馬県6人制クラブカップ男女選手権大会
兼第42回全日本6人制バレーボールクラブカップ男女選手権大会予選会(5/21) 優勝
天皇・皇后杯全日本選手権大会群馬県予選(7/16~7/22) 準優勝
第10回群馬県大学バレーボール選手権(11/26) 優勝

その他の部

- 第34回群馬県私立大学スポーツ大会(10/7~8)
女子ソフトボール部 優勝
女子フットサル部 優勝
女子バドミントン部 優勝
出前公演(大学・短大)
和太鼓部、ハワイアン部、ダンス部、ハニーキッズ部は、地域の各種団体からの依頼により、出前公演を行っており大変喜ばれております。

公開講座

本学では、地域連携推進事業の一環として公開講座を実施しており、地域の皆様の生涯学習の一助となればと考えております。実施に当たっては高崎市と高崎市教育委員会の後援をいただいた

第1回 10月21日(土) 13時~14時30分

■演題 / 「マレーシアのテイータイム」
お菓子と女性が織りなす社会関係」
■講師 / 櫻田涼子 (現代コミュニケーション学科 准教授)

第2回 10月28日(土) 14時~16時

■演題 / 「オリンピックと触れ合おう!!」
オリンピック競技であるレスリングを体験してみよう!

■講師 / 松本隆太郎 (教育学部スポーツ教育専攻講師・ロンドンオリンピック メダリスト)
■対象者 / 幼児、小学生

第3回 10月29日(日) 13時~15時

■演題 / 「プログラミング教室」
よプログラミング」
■講師 / 大島宗哲 (現代コミュニケーション学科 准教授)

■対象者 / 小学校 (中学年)

第4回 12月22日(金) 18時30分~20時

■演題 / 「大人のための夜のおはなし会」
絵本と音楽と」

■講師 / 内田基美 (保育学科 教授)、小屋美香 (保育学科 教授)
■対象者 / 一般人

第5回 12月23日(土) 10時~12時

■演題 / 「チャレンジ運動遊び」
苦手を運動に、楽しく遊びながら挑戦してみよう!

■講師 / 吉井健人 (教育学部児童教育専攻 准教授)
■対象者 / 小学校低学年(1、2年生・保護者同伴)

市内私立大学・短期大学連携事例発表会

本学では、高崎市が主催する『市内私立大学・短期大学連携事例発表会』で産学官連携・地域貢献活動による地域振興を目指して、に参加しています。

この発表会には、高崎市内の6校の私立大学・短期大学が参加し、地域が抱える身近な課題に、大学と企業等が共同で取り組む産学連携を促進させるもので、学生が地域貢献活動や新たなビジネスアイデアの展開を研究し、例年2月に発表しています。

令和5年2月は、本学が会場として行われ、本学から次の4プログラムが参加しました。

①群馬のインクルーシブ保育ー外国ルーツの子どもたちー

■発表者 / 保育学科2年・坂本健二朗、櫻井里央奈、横川大介、田中タチアナ
■指導教員 / 保育学科・佐藤喜久一郎 講師

②eスポーツを通して
「データレセター」の連携事例ー大会実施、インタビュ調査を通してeスポーツの効果の検討ー

■発表者 / 現代コミュニケーション学科1年・田子香恋、林百香、吉井伶那
■指導教員 / 現代コミュニケーション学科・清水清志 教授

③育英大学×新田小学校のコラボレーションによる「チャレンジ・ティーチャー」プログラム」の試みー学校の現場の課題解決を通じた教員養成プログラム」の構築ー

■発表者 / 教育学部教育学科3年・今村梨花、金井翔、坂井紅大、杉本彩香、藤川愛理、奈良輪嘉万
■指導教員 / 教育学部児童教育専攻・田中怜 講師

④運動部活動の地域移行に向けた事例報告

■発表者 / 教育学部教育学科4年・大嶋結人、松本卓斗
■指導教員 / 教育学部スポーツ教育専攻・正保佳史 講師

図書館だより

大学図書館では、図書の間覧や貸出、視聴覚教材の視聴など一般の図書業務のほかに、学生の皆さんの感性と好奇心を刺激する図書館活動を目指して様々な企画や展示を実施しています。

今年度は、知的書評合戦「ペリオバトル」を毎月月末の昼休みに開催しており、学生だけでなく先生や職員もバトルとして参加し、和やかながら知的な興奮も感じられる楽しいイベントとなっています。

10月には、全国大学ピリオバトル関東Dブロックの予選大会を学内で実施し、チャンプとなった大学・児童教育専攻3年の内山由梨さんは、11月3日(金)に群馬県庁で行われた全国大会出場者を決める大会「関東Dブロック決戦」に出場し、群馬県大学図書館協議会の西村会長から優秀賞として表彰されました。



として、今年度3回目となる「手作り絵本コンクール Beyond the Borders」(募集中) 期間7月18日(火)~10月20日(金)も実施しました。

今回は、募集対象を昨年度よりも広げ、中学生以上のすべての方が応募可能となりました。今回の応募総数は絵本53点、絵本原作4点でした。うち絵本22点と原作4点が、県内の高校生や社会人の方からの応募でした。審査にあたっては、

豆本作家の木月禎子先生や児童文化の佐塚公代先生のほか、絵本や美術を専門とする審査員の先生方により、最優秀賞の2作品を含む15点の入賞作品が選出されました。

12月21日(木)に行われた表彰式では、内田基美図書館長から受賞者に表彰状と副賞の図書カードが授与され、入賞作品は、1月31日(水)まで館内で展示し皆様にご覧いただけます。

また、今年度から、大学図書館のInstagramとX(旧Twitter)でも、今年度から、大学図書館のInstagramとX(旧Twitter)の運用を開始しました。ピリオバトルの様子や図書館活動の様子を折に触れて発信しております。

このほかにも、しかけ絵本展「東日本大震災の新聞の展示、選書ツアー等、様々な企画を年間を通して行っています。学生の皆さんの感性や知的好奇心を刺激できるような図書館活



動を今後も続けていきますので、ぜひ、積極的に図書館に足を運んでいただきたいと思います。

「絵本の部」最優秀賞

●「おきにいりのブーツ」 共作 櫻田 杏優(短大・保育学科2年)、篠澤 里奈(短大・保育学科2年)、湯浅 まどか(短大・保育学科2年)

●「Starlight and Dark Night」 小柏 悠衣(短大・保育学科1年)

●「やぐそくしてね! ダイキくん」 荒井 那琉(大学・児童教育専攻3年)

●「なんのおにぎり」 興村 絢子(会社員)

●「ゆめのなかとすきなこ」と「富岡 智桜(吉井高校3年)

●「ママずかん」、「あかちゃんおねえさん」、「おはなしあのね」 小菅 美和子(保育士)

●「ママずかん」、「あかちゃんおねえさん」、「おはなしあのね」 小菅 美和子(保育士)

●「ママずかん」、「あかちゃんおねえさん」、「おはなしあのね」 小菅 美和子(保育士)

●「ママずかん」、「あかちゃんおねえさん」、「おはなしあのね」 小菅 美和子(保育士)

●「ママずかん」、「あかちゃんおねえさん」、「おはなしあのね」 小菅 美和子(保育士)

●「ママずかん」、「あかちゃんおねえさん」、「おはなしあのね」 小菅 美和子(保育士)

桔梗祭2023

大学祭実行委員長(大学)
柳澤 優里

大学祭実行委員長(短大)
三川 ゆうり

今年度も育英大学・育英短期大学合同で、10月28、29日に第53回桔梗祭を開催いたしました。今年度は、4年ぶりの制限なし、2日間一般開放での開催でした。桔梗祭のテーマとして、「トウシク」を掲げ、実行委員会を中心に、



学生全体で2日間を盛り上げました。「トウシク」とは、「トククン」という心音の擬音語を変形させた流行言葉であり、胸のときめきを表現しています。このテーマには、新型コロナウイルスの流行により様々なイベントに制限がかけられてしまっていたこの数年で、失われつつあった人と人とのつながりやそれによって生まれる感動や喜びを、学生や教員、来場者の方々も感じ、会場にいる全員が「あのトキメキ」を取り戻すことのできるような大学祭にしたいという想いが込められています。

今年の桔梗祭では、全ての方に楽しんでもらえるようなイベントとなるよう、昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染対策を行い、沢山の模擬店出店、ステージプログラムなどを用意して開催しました。模擬店は、昨年よりも出店数を増やし、沢山の種類の食べ物を用意しました。ステージ発表では、部活動やサークル、有志の団体による発表が行われました。和太鼓部による迫力のある演奏や、ダンス、ハワイアンの発表、軽音部や吹奏楽部による演奏などで、盛り上がりました。また、2日目には来場者に楽しんでもらえるよう、一般の方が参加できる〇×

クイズや、スタンプラリーなども行い、沢山の方に参加してもらうことができました。また、外部出演として、芸能人3組と、シンガーソングライターの方を招き、両日とも多くの方に楽しんでもらうことができました。桔梗祭を開催するにあたって、関わってくださった皆様のおかげで、無事に桔梗祭2023を終えることができました。また、約1800人の来場者の方にも楽しんでもらうことができました。来年度もたくさんの方に足を運んでもらえるような大学祭になることを心より願っております。

飛翔会だより

【定期総会・臨時総会(書面)】



令和5年度の定期総会は、5月20日(土)午後2時から本学の125教室で開催されました。

総会では、令和4年度事業報告、決算報告、会計監査報告、令和5年度新役員選出、令和5年度事業計画案、予算案を審議いただき、原案どおり承認され、実習・就職活動、学生会活動、クラブ活動、学園祭、図書購入、コロナ対策、教育環境整備等に支援することとなりました。その後、総会をもって任期満了により退任される各副会長(支部長)、監査、計8名に学長より感謝状と記念品が贈呈されました。

書面による臨時総会が11月6日から24日にかけて行われ、短大の5支部を短期大学支部とし、併せて関係

する部分を改正する会則の改正案が回答者全員の賛成で承認されました。

【支部会】

第1回合同支部会が、7月29日(土)に大学支部、7月30日(日)に短大の合同で、ラシーネ新前橋で開催されました。両支部会では、定期総会報告・学事日程、クラブ活動・出前公演の状況、各学科(専攻)の取組、進路などについて説明が行われ、参加した保護者からは様々な質問があり、大学との意見交換が活発に行われました。第2回合同支部会は、2月4日(日)に開催を予定しています。

【青空市場】

10月28日(土)の桔梗祭1日目に、恒例となっている「青空市場」を出店しました。



「青空市場」では、新鮮野菜や果物、お菓子すくい、飲料が格安で販売され、盛況のうちには終了しました。実行委員の方々の協力により、桔梗祭を盛り上げることができました。また、「青空市場」の収益金93,050円は、学生の就職支援のため採用試験の問題集を本学図書館に寄贈しました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



後援会だより

令和5年度定期総会

令和5年度定期総会が7月6日(木)午後6時からホテルラシーネ新前橋において開催されました。総会では、令和4年度事業報告、決算報告、会計監査報告、令和5年度新役員の選任、令和5年度事業計画案、予算案を審議いただき、原案どおり承認され、指定強化クラブや地域活動クラブ、学園祭、教育環境整備等に支援することとなりました。

また、事業費については、大学の指定強化クラブ(陸上部、レスリング部、バレーボール部)、地域活動で活躍している和太鼓部、国際大会への支援に対して支援を厚くするとともに、これからも後援会としてできる限りの支援をしていきたいと思っておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

桔梗会だより

令和5年度定期総会



令和5年度の定期総会

は、6月に開催しました。総会では今年度の活動内容について審議され、主な事業として教育環境整備支援補助20万円を学園へ寄付、桔梗祭(大学祭)への参加、キャンパス・カミングデイへの補助、レスリング世界選手権出場・メダル獲得者への激励金・祝金の贈呈

をいたしました。10月には桔梗祭へ同窓会ブースを設け、同窓生親子や一般来客との交流を図ることができました。今後、卒業生への記念品贈呈など、在校生・卒業生への支援を深めると共に育英大学・育英短期大学発展のため尽力していきたいと思っております。今後とも皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



2023年レスリング世界選手権大会の出場者を応援

大学を支援する三団体(飛翔会、後援会、桔梗会)では、9月に開催されたシニアの世界選手権大会に出場した選手に激励金と、すばらしい成績を修めた選手に御祝金を贈呈しました。

また、櫻井つぐみ選手と元木咲良選手は、2024パリオリンピックに出場予定です。

【出場した選手と成績】

- レスリング世界選手権大会(9/16~24)
- 4年 櫻井 つぐみ (57kg級 優勝)
- 4年 元木 咲良 (62kg級 2位)
- 3年 石井 亜海 (68kg級 5位)



育英高校だより

生徒数

普通科 1,319人

保育科 63人

今年の抱負

前橋育英高等学校

校長 金子 雅人



本校の活動につきまして、日頃よりご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

昨年は、5月上旬よりコロナ感染症が5類に移行し、学校の各行事も再開が可能となりました。特に10月に開催された生徒会行事である「育英祭」は、四年ぶりとなり、学校全体で久しぶりの活気を感しました。生徒達にとつて、良い思い出になればと思います。

さて、本校創立60周年を昨年終え、10年後の70周年に向けてスタートしました。生徒確保は今後益々厳しい状況となります。それは、日本が抱える少子化問題です。群馬県の今後10年間の中学校卒業生推移では、3,308人減少します。よつて本校としては、厳しい状況下での生徒確保は、必須です。これまでの本校の特色は、2013年度夏の甲子園で硬式野球部が初出場初優勝。さらに2017年度冬の高校サッカー選手権での男子サッカー部初優勝に代表されるス

副校長挨拶



副校長 神山 義幸

副校長を拝命して4年目になりました。至らない点も多いと思いますが、今年もよろしく願います。

さて、この3年超にわたるコロナ禍も5月の感染症分類見直しにより、ひとまの収束をみました。今年度は学校行事もほぼすべて通常通り行われており、特に4年ぶりの育英祭は様々な制約を受けていた3年生をはじめ、在校生にとつて高校生活の貴重な思い出となっております。ではないかと考えております。

学校として、生徒が他者とコミュニケーションをとるながら生き生きと学習活動や課外活動に取り組むことができる場を提供することが大切であると考えています。

そのような環境を整え、生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、微力ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻をよろしく願います。

教頭挨拶



教頭 上原 敏広

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

コロナ禍によって閉塞しておりました社会も徐々に回復いたしまして、本校でも諸行事が催行され校内に元気な声や笑顔が戻りました。授業や講義はもちろんですが、学習室で自学自習に励む姿、校庭や体育館で汗を流す姿はやはり青春時代の思い出として高校生活には必須のものだと改めて思いました。

修学旅行も実施されました。二年生は九州へ赴き、異郷にて級友との親交を深めてよい思い出をたくさん作れたようです。高校生は多感な年頃ですから、悲喜交々多くのできごとに触れて感性豊かな人になってほしいと思います。

そんなことをつらつらと考えておりましたところ、元日早々能登半島に地震発生とのこと。多くの方々が生活の基盤を失い、尊い命も奪われてしまいました。大人は子どもをどのように安心させているのだろうか。教員はどのように生徒たちを励ましているのだろうか。生徒たちはどのように受験・進路に立ち向かおうとしているのだろうか。被災地の方々に思いを馳せて、その復興と平穏を切に願わずにはおれません。

世は無常と申します。それに負けぬよう、希望を持ち前を向いてこどもたちが強く歩んでいけるよう教職員一同一丸となつて鋭意努力してまいります。今年もよろしく願います。

事務長挨拶



事務長 富澤 昌久

昨年は5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、ようやく日常生活を取り戻した年でした。育英祭を始めとした本校の学校行事等においても、久しぶりに通常の活動が出来た年になりました。本年も継続して、良い一年になるようお願いいたします。

さて、本校は昨年4月に創立60周年を迎えました。野球・サッカーをはじめとするスポーツ面の活躍のみならず、学習面・ひいては進学面でも、ますます充実の一途をたどることを信じ、期待します。

年頭にあたり、安全・安心な学校作りとともに、生徒・保護者や地域住民などの更なる信頼関係の構築のため、職責を果たしたいと決意を新たにしたいところです。少子化や物価の高騰等により大変な時期ですが、引き続き、前橋育英高校のために、誠心誠意、微力を尽くしたいと思っております。本年もどうぞよろしく願います。

第102回 全国高校サッカー選手権大会出場 男子サッカー部

監督 山田 耕介

2年連続で準々決勝で敗退したこの選手権大会、今年こそは国立競技場に踏み全国に、前橋育英高校のサッカーを表現しようとして臨んだ大会でありました。しかし現実には甘くありません。残念ながら2回戦で神戸弘陵に敗れる結果になってしまいました。3年間の全てをサッカーに捧げてきた彼らを観てきました。が、本当に様々な苦勞・葛藤があり、選手たちは成長してくれた



と思います。うまくいかないのがサッカー、そして人生です。でもその中で失敗・挫折から学び、諦めず前に進むことにより進化が生まれてくると思います。考えて考えてどうしようかと悩み結局は、何もしないのが一番ダメです。みんなの未来はこれからです。期待しています。最後に今大会にあたり、多大なるご支援、ご尽力を賜り誠にありがとうございます。全ての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

令和5年度 第27回 育英祭開催

生徒会担当 濟田 翔平

今年度は実に四年ぶりとなる育英祭が実施されました。生徒にとってはもちろん初めてとなる文化祭ということで、不安な気持ちを抱きつつも前向きに楽しく準備に当たることができたのではないかと思います。

今回の文化祭のテーマは「一祭合祭」。「一切合切」に「祭」の字を当てはめたものですが、生徒・先生・保護者、全員が持てる力を出し切ることで、楽しい文



化祭を創り上げようという思いが込められたテーマです。クラスや部活動における発表、そのどれもが趣向を凝らし、全力で力を出し切っていたことと思います。

届けよう、服のチカラグループ、プロジェクトや和楽器バンド山葵様とのコラボステージをはじめ、多くの方々に協力いただいたことで、育英祭を無事終えることができました。前回から少しい間の空いた育英祭ですが、今回の育英祭における感謝の気持ちを忘れることなく、伝統を紡ぎなおしていくことができました。から幸いです。





吹奏楽部

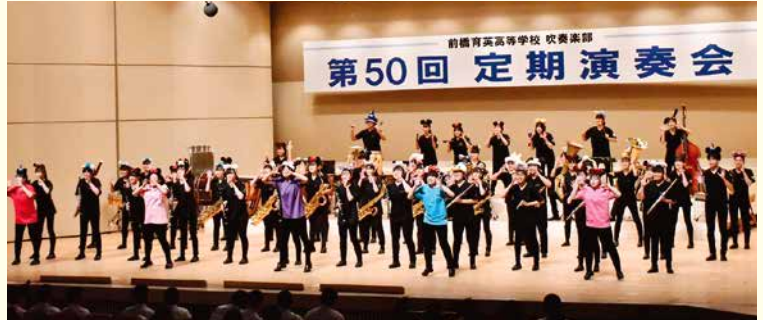
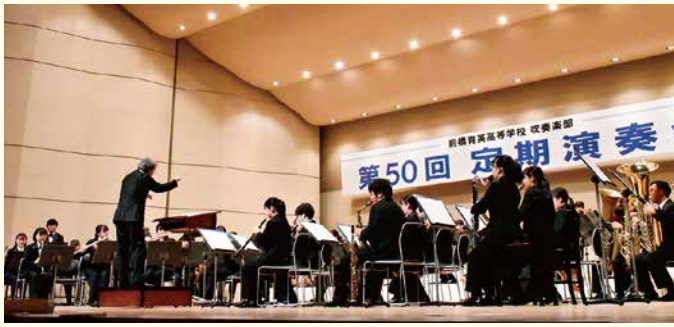
第50回 定期演奏会を終えて



吹奏楽部部长 高野 結夢

今年度の定期演奏会では
新型コロナウイルスによる
従来の制限が無くなり、私達
部員もご来場くださった皆
さん大いに盛り上がった皆
演奏会となりました。特に
野球応援メドレーでは、ダン
ス部の皆さんの出演により、
今までにない盛り上がりとな
りました。

この演奏会をもって引退
となった私達第59期生(三年
生)20名は、今までたくさん
悔し涙を流してきました。



その度に全員で支え合い、励
ましあい、乗り越えて、無事
に最後の演奏会を迎えるこ
とができました。それも全
て私達を第一に考えてく
ださった顧問の先生方、一
番近い場所で見守ってくれた
家族、応援してくださってい
る皆さんのおかげです。
最後になります。演奏会
へのご来場、誠にありがとう
ございました。これからも
温かい応援をどうぞよろし
くお願いします。

第二学年修学旅行 (I期) 報告

学年主任 大塚 純一

第二学年普通科Ⅰ・Ⅲ類お
よびⅤ類では11月7日(火)か
ら10日(金)にかけて修学旅行
Ⅰ期として、九州地方を訪問い
たしました。コロナが5類に
移行した後ではありましたが感
染防止に努めながら三泊四
日の行程を終えることができ
ました。旅行前、旅行中、そし
て旅行後にわたる保護者の皆
様のご理解とご協力で実施で
きたことを感謝申し上げます。

さて、本旅行の目的の一つに、
「戦跡の見学や戦争体験者等の
講話を通して、戦争の悲惨さ



平和の尊さについて学び、望ま
しい生き方や社会の在り方に
ついて考える。」を掲げました。
知覧特攻平和会館では語り部
の方から特攻の歴史背景と特
攻隊員の遺書等についての講
話を聴き、戦闘機や特攻隊員の
遺影、戦史資料を見学しました。
また長崎の平和公園・長崎原爆
資料館では被爆の惨劇を伝え
る多くの資料を見学しました。
生徒たちの真剣な様子からこ
の目的はほぼ達成できたと考
えています。



また、他の訪問地でも生徒た
ちは一人一人が修学旅行の目
的を十分に理解しTPOをわ
きまえながら主体的に学んで
いました。長崎市内やハウス
テンボスの班別研修では友人
と意見を出しあい様々な場所
を散策し、九州地方の歴史や文
化に触れました。また、九州地
方の食も堪能したようです。
これらにより、多くのことを友
人とともに学び、同時に友人間
の絆を一層深めることができ
たと思います。

2月6日(火)から9日(金)
はⅣ類で修学旅行Ⅱ期を予定
しています。本旅行で得られ
た経験を生かして実施に繋が
りたいと考えています。改めて、
本旅行に携わったすべての方
に感謝申し上げます。